

# 一般質問通告書

令和3年2月定例会

## 1番 猶 克実 議員 (分割質問・分割答弁方式)

### 1 職員の自死とその対応について

- (1) 原因とその調査に時間がかかった理由
- (2) 外部調査委員会の報告書と事実確認実施委員会の報告
- (3) 懲戒審査委員会の結論と結果

### 2 宇部西消防署既設庁舎耐震診断・基本設計業務について

- (1) 令和2年7月8日に執行された入札について、業務の内容と目的。
- (2) 結果とそれを受けて方針の変更は。

## 2番 吉永 美子 議員 (一問一答方式)

### 1 職員の自死について

#### (1) 遺書について

ア「消防局内でハラスメント行為が横行し、これが原因で辞めた若い職員がいる」との指摘をどう捉えているのか。

イ「上層部にこれを隠ぺいする体質がある」との指摘をどう捉えているのか。

ウ「直近の自己に対する上司の言動に対して納得がいかない」との指摘をどう捉えているのか。

エ「自己の行動が無駄にならないことを願っています」との遺書をどう捉えているのか。

#### (2) 懲戒審査委員会の指摘について

ア「ハラスメントに関する認識の欠如または不足」をどう捉え、どのように改善していくのか。

イ「ハラスメントの防止措置の不足」をどう捉え、どのように改善していくのか。

#### (3) 懲戒審査委員会の提言について

ア「ハラスメント防止の方針の明確化及びその周知・啓発」をどう捉えているのか。

イ「研修、講習等の実施」をどう捉えているのか。

ウ「定期的なハラスメントに関するアンケートの実施」をどう捉えているのか。

エ「相談に応じ、適切に対応するための必要な体制の整備」をどう捉えているのか。

オ「ハラスメントの問題が生じた後の迅速かつ適切な対応」をどう捉えているのか。

#### (4) 苦情相談窓口及びメンタルヘルスに関する窓口の存在の周知徹底は行われているか。

#### (5) 休職制度の啓発は行われているか。

#### (6) 懲戒処分の基準はどのように策定されているのか。

#### (7) 記者会見後の遺族のコメントをどう捉えているのか。

#### (8) 二度と起きないようにするための職場環境の改善について聞く。

### 2 広報のあり方について

住民にとって身近な消防行政を周知していくことは、大変重要であると考えている。ホームページに関し、充実の努力は評価に値するが、広報誌など紙媒体をもっと活用していく必要があるのではないか。

3番 山下 則芳 議員 (分割質問・分割答弁方式)

1 職員の自死事件に関することについて

- (1) 経過概要
- (2) 答申書の内容
- (3) 自死以後の職場環境改善内容及び今後の更なる改善方針

2 宇部西消防署庁舎について

- (1) 現庁舎の状況と課題
- (2) 消防車と救急車の年間出動回数 (10年前と直近)
- (3) 今後の現庁舎の検討内容